環境報告書 2023



マイクロブルワリー麦酒醸造所工場見学(閖上)



いち<mark>ご農園ラ・フレーズ</mark> いちご狩り体験(高舘)



カーネーション摘み取り体験 (小塚原)







名取を体験!!



笹かまぼこ手焼き体験 (閖上)



ゆりあげ<mark>港朝市 炉端</mark>焼き体験 (閖上)



エアポートコムス乗車体験 (下増田/仙台空港)

株式会社オイルプラントナトリ

CONTENTS

ごあいさつ、会社目標・・・・・・ 2
会社概要・・・・・・・・3~4
環境方針、経営理念・・・・・・5
環境管理組織体制・・・・・・・6
環境保全活動・・・・・・・7~11 ■省エネ・CO2削減 ■教育・訓練 ■コンプライアンス活動 ■安心・安全をめざして ■環境監査 ■監視測定・コミュニケーション
地域社会との関わり・・・・12~13
SDGsの取組、協定書関連・・・14

環境報告書について

1

本報告書は、株式会社オイルプラントナトリの2022年度の 環境保全への取り組みと実績を報告するものです。 代表取締役社長

武田 洋一



高度経済成長によって、豊かな文明が栄えた社会環境を創り上げてきた素晴らしい20 世紀・・・。

その豊かさと引き換えに生み出されてきた大量の産業廃棄物・二酸化炭素の増加に伴う地球温暖化の問題等も、また、20世紀の姿であるといえます。

そして、昭和32年来、先代の手によって、環境汚染の問題にいち早く取り組み、思考と努力によって、リサイクル事業における様々なノウハウと技術力を培ってきた時代でもあります。

「燃やす・埋める」行為から、「リデュース・リユース・リサイクル」へ「20世紀・大量生産、大量廃棄時代」から「21世紀循環型社会」へ、そして「サーキュラーエコノミー、脱炭素社会」へと環境問題に対し社会の在り方が、大きく変わり始めています。

ナノプラスチックをはじめ、人体への影響を与える様々な環境汚染を未然に防ぎ、省エネルギーを基盤に、限りある資源を有効に活かすことこそが21世紀の在るべき姿であると考えます。

これからも、私たちオイルプラントナトリは「環境保全と省エネルギー」の為に木くずや廃油を燃料にした、創業時の理念の基、自然環境との共生、そしてクリーンな社会環境・人にやさしい環境等、グローバルな視点に立った姿勢で事業に取り組んでまいります。より一層の御指導と御鞭撻の程を切に御願い申し上げます。

令和5年度会社目標

令和5年4月1日 株式会社オイルプラントナト! 代表取締役 武田洋一

サーキュラーエコノミー

スローガン

「CE」時代,OPNの役割を探求しよう!

基本理念

私たちは「すてない」喜びを伝える事を業務としこの地「広浦」に社員が集う『創造郷』をつくる事を目指す

🕰 顧客に対して

「なるほど」と感じ「ありがとう」と満足頂ける産廃処理のプロであること

🔯 社員に対して

目標が共有でき、安心して夢を持ち働ける と感じられる関係をつくること

👰 環境に対して

利益は大事だが、営利優先で地域や環境に 恒久的迷惑を掛けないこと

会社概要

□社 名 株式会社オイルプラントナトリ

□創 業 昭和32年3月

□ 本 社 宮城県名取市増田三丁目4番3号

□ 事務所 宮城県名取市下増田字広浦52番3号

☎ 022-382-2713 **월**022-384-0946

E-Mail opn-amenity@msf.biglobe.ne.jp

URL http://www.opnatori.co.jp/

□ 第1工場 宮城県名取市下増田字広浦35番48号

□ 第2工場 宮城県名取市下増田字広浦52番3号

□ 法人設立 昭和63年4月

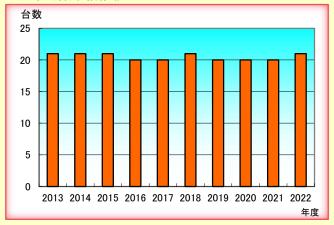
□ 資 本 金 3,000万円

□ 役職員数 48名(2023年4月1日現在)

□ 受入量



□ 収集運搬車輌推移



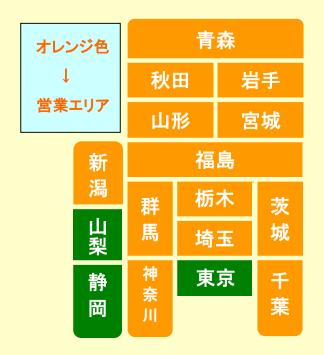
□ 敷地



□ 産業廃棄物処分業許可

産業廃棄物処分業 宮城県 特別管理産業廃棄物処分業 宮城県

□ 産業廃棄物収集運搬業・許可(県)



□ 石油製品販売業者

通商産業省第2-4-0-2740号

□ 販売品

- ·バイオECO燃料(BDF)
- •再生B重油
- •鉱物系補助燃料
- 塩素含鉱物系補助燃料
- •溶剤系補助燃料
- · 塩素含溶剤系補助燃料

□ 受注産業廃棄物のリサイクル率推移



[主要設備および処理能力]

□ 車輌関係

(2023年4月1日現在)

運搬車両	台数
12klタンクローリー	5台
10klタンクローリー	1台
5klタンクローリー	1台
4klタンクローリー	3台
14kl再生重油配達車	1台
13tウィングパワーゲート付車	1台
6tウィングパワーゲート付車	1台
6tユニックパワーゲート付車	1台
3tウィングパワーゲート付車	2台
3t平パワーゲート付車	1台
2t平パワーゲート付車	1台
2tローリーBDF配達車	1台
4tアームロール車	1台
ライトバン	1台
構内車両	台数
3tウィング移動中間処理車	1台
ホイルローダー	1台
バックホー	1台
フォークリフト	5台
4klタンクローリー	1台
2tダンパー車	1台
合計	31台





12tタンクローリー

12tウィング

6tユニック車



4tタンクローリー





移動中間処理車 (食品残渣付廃プラ)

4tアームロール

□ 中間処理施設

•油水分離処理施設



廃オイル⇒再生重油 30m3/日(10時間稼動)

·混合処理施設



汚泥・木くず類⇒原料化 48m3/日(8時間稼動)

·破砕処理施設



廃プラ⇒固形燃料 11.4t/日(8時間稼動)

•中和処理施設



中和撹拌タンク

廃酸・廃アルカリ⇒加工用水 43m³/日(10時間稼動)

·混合処理施設



廃溶剤⇒代替エネルギー 水溶性廃液⇒加工用水 156m3/日(10時間稼動)

•廃食油の燃料化施設



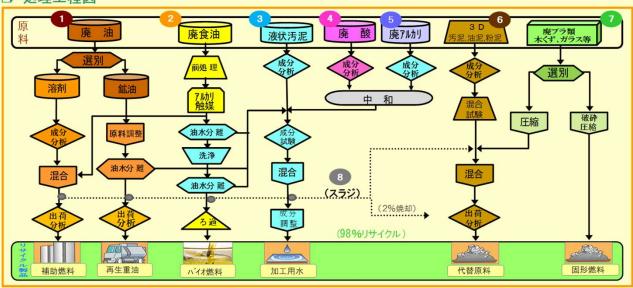
てんぷら油⇒バイオディーゼル燃料 15m3/日(10時間稼動)

•廃棄物分析室



蛍光X線分析装置 ガスクロマトグラフ分析装置 電気炉、引火点、水分分析 カロリーメーター等

□ 処理工程図



環境保全活動に関する方針

環境方針

株式会社オイルプラントナトリは廃棄物の有効利用、及び再資源化を通じて 生活環境の継続的な向上に全社員参加で貢献します。

- 1. 委託された廃棄物は、安全且つ適正な収集運搬と処分を行うと共に、有効利用、再資源化技術の向上に取り組み、環境保全、省エネルギー、省資源に努めます。
- 2. 作業工程での環境への配慮に努め、汚染の予防及び環境マネジメントシステムの継続的な改善をします。
- 3. 環境に関する法律、規制、条例及びその他要求事項を遵守します。
- 4. 環境目的と持続可能な開発目標(SDGs)を連動させて実施状況を確認し、定期的に見直しを図ります。

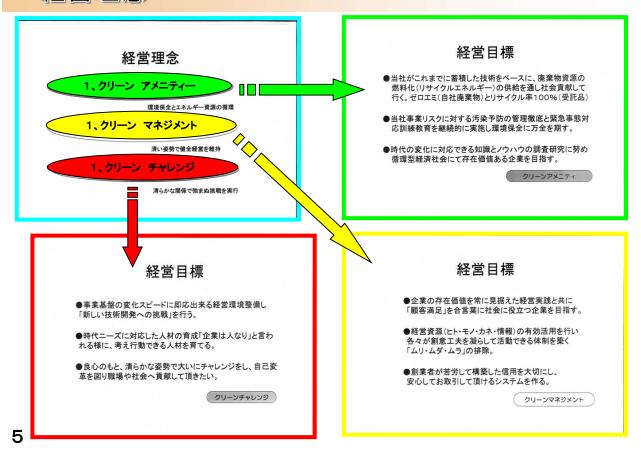
『≪もったいない≫をモットーに重点テーマを次に定めます』

- ◎ バイオECO燃料 (廃食用油の燃料化)による大気汚染物質の低減に寄与
- ◎ 施設・設備・作業環境の点検及び管理の徹底
- ◎ SDSや物性表の入手を徹底し廃棄物の安全性の確認により適正処理
- ◎ 収集運搬における車輌及び容器の点検及び管理の徹底
- ◎ 事業活動におけるエネルギー消費とCO₂発生の削減
- ◎ 廃棄物の燃料化、原料化、資源化のリサイクルの推進
- 5. この環境方針を継続的に実行するため、文書化し全従業員に周知します。 また、出入り業者に対しても協力を要請します。
- 6. この環境方針は、積極的に社外に公開します。

2023年6月1日

株式会社 オイルプラントナトリ 代表取締役社長 武田 洋一

経営理念

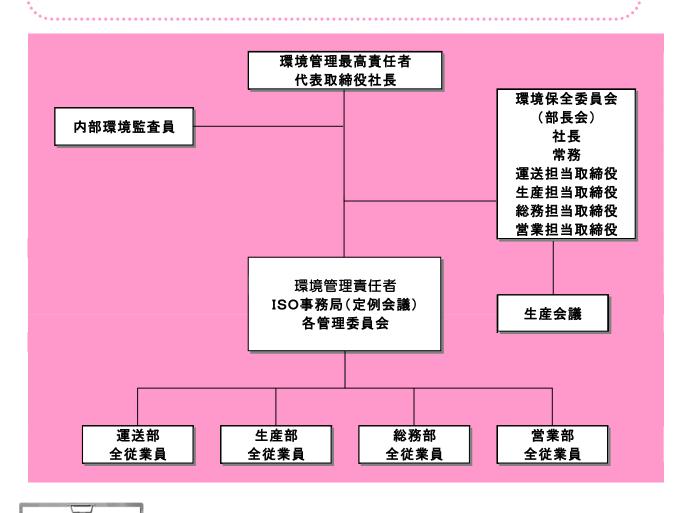


環境管理組織体制

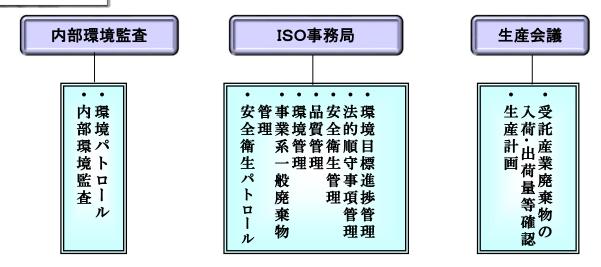
当社の環境保全活動は、下図のような体制で運営されています。

メンバーが全員役員で構成される≪環境保全委員会≫を設置し、経営と現場の両方の視点から迅速な対応を実現しております。

また、事業活動全体の環境負荷を把握し、効率的な環境活動を行うため、ISO事務局会議や生産会議(各部間の連携を目的とする)および内部環境監査員、各管理委員会の協力の上で、定期的なチェック体制は欠かす事の出来ない重要な活動です。



主な活動組織

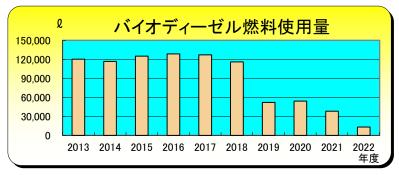


環境保全活動

軽油使用量の削減



《バイオティーゼル燃料の利用18年》





2004年12月から廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料を製造し、100%のバイオディーゼル燃料を 自社車両の重機やフォークリフトと一部のトラックに年間を通じて利用しています。軽油使用の削減活動を継続しながら、その活動に関心を寄せてくださる企業様にもご利用頂いております。 今後は、工場内利用及び要望がある近隣での利用拡大を推進してまいります。

アイドリングストップの推進

休憩時間や作業時に不要なアイドリングストップを行い、6,0860の燃料削減となりました。





COZの排出量

弊社でCO2排出量が一番多いのは、収集運搬車、構内車両、営業車等の化石燃料の使用によるものです。その中でも軽油使用量が多い為、カーボンニュートラルのバイオディーゼル燃料を使用する事が、大変効果のあるCO2削減活動となっています。



バイオディーゼル燃料を利用できる運搬車両の減少。及び、年々走行距離数が増加している事から 軽油利用によるCO2排出量は増加傾向にありますので、低炭素型大型トラックの開発とインフラ整備 を期待しているところです。

LED化推進

第1工場(休憩室)の蛍光灯をLED化 消費電力 マイナス49%

建屋内のLED化推進完了(一部街灯除く)

施行前



蛍光灯



蛍光灯の撤去作業



取り外した蛍光灯一式

施行後



LED取付作業



LED取付完了

エコカー導入推進

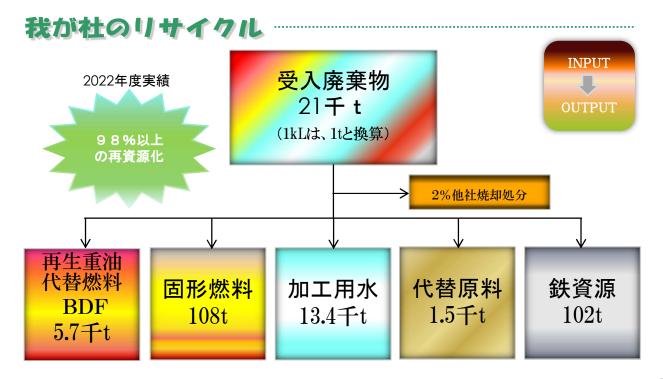


燃料電池車1台



ハイブリット車6台

ハイブリット自動車、燃料電池自動車等の低公害車や低燃 費車と認められる自動車を計画的に導入する事を推進。 今後は、走行距離に適したEV・PHVを取り入れていきたいと 考えます。



教育 · 訓練 (社内全体研修)

-第1回社内研修会 令和4年5月28日(土)企画部署 運送部

~安全運転研修及び生活に役立つセミナー~



目的: 認知障害早期発見チェックリストによる家族の状態を知る。酩酊状態を体験する事で怖さを知る。 タイヤがパンクした時の対応を体験。人生100年時代に必要とされる将来の生活設計を知る。 各種災害時の行動マトリクスを作成し、各部の初期対応~復旧対応までを周知。









認知障害チェックリスト

酩酊状態歩行体験

パンク修理材の利用法

大人の為のお金の話

-第2回社内研修会 令和4年7月30日(土)企画部署 総務部

~DXを体験しよう!~

目的: DXについて外部講師による講演を拝聴し、自社のDXをどのように定義づけ、どのような未来を 描けるでしょうか?当社の業務効率化の可能性と、それが叶った先の未来を学ぶこと。 また、疑似体験を通して、よりデジタルを身近に感じてみましょう。











講演中の様子

DXとは?

バーチャル体験

永年勤続表彰

-第3回社内研修会 令和4年10月29日(土)企画部署 生産部

~ 初期消火のための消火器実践ワーク~

目的: 1、初期消火の重要性の把握

- 2、消火器種類と消化能力の把握
- 3、火災時の対処能力の向上



油火災に対する 消火設備の能力 向上が狙い



一般事業主行動計画 について



消防職員による防災講話

初期消火 火災から2分間がカギ!

- ・火事を知らせる
- ・消火活動をする
- ・現場から脱げる

大きな火災になる前の対応



強化液消火器



ABC粉末消火器



高性能消火器

- 第4回社内研修会 令和5年1月28日(土)企画部署 営業部 【会場:名取市下増田公民館】 ~半導体を学ぶ~

目的:「2022年は半導体不足」弊社は半導体製造企業様に大変お世話になっているので、半導体に ついて勉強していきます。また、知らないうちに法違反になっていたということにならないように 廃棄物処理法の勉強会を実施。





造園作業で切った木⇒<u>一廃</u> 解体工事から発生した廃木材⇒<u>産廃・木くず</u> 使用済み物流用木製パレット⇒産廃・木くす 製造業の製造工程から発生した樹脂の切れ端 ⇒産廃・廃プラスチック類 建設業者の事務所から発生した書類⇒<u>一廉</u> 廃タイヤ⇒**産廃・廃プラスチック**舞

産業廃棄物の種類:練習問題



コオロギせんべい

半導体の利用

各工程の概略

コンプライアンス活動

ISO事務局活動の中で、環境法律動向状況を毎月調査し、弊社に関わる法改正内容を確認しています。廃掃法では対応必要とする改正は特にありませんが、道交法の改正が有りアルコールチェックが大変厳しくなりました。既存の機器では役不足となり、改正法対応機器を購入し対応。また、労働安全衛生法に関わる資格取得・特別教育を推進し、弊社に関わる内容を見落とさないように取組んでいます。優良認定申請は、各県の収集運搬業許可期限に合わせて対応しております。

安心・安全をめざして

リスクアセスメント表に抽出されている起こり得る労働災害が、全て教育資料(作業手順書)に記載され、安全作業への教育漏れがないよう継続的に見直しを行っています。また、設備に関しては、事故原因が安全対策・設備不具合によるものは避けなければいけませんので、通常作業で危険と感じた事の報告が大事なのは言うまでもありません。日頃の点検においても、メンテナンス時期を知らせる重要なポイントです。大掛かりな修理工事による経費の削減、安定した処理設備を維持できるよう継続活動してまいります。



運送部KYT



運送部·漏洩訓練



アルコールチェック



牛産部KYT



生産部:漏洩訓練



防油堤内の防水塗装施工



危険ポイントの見える化

環境監査

【外部審査】



MS CM001

検出事項は改善事項の1件

ISO14001 第7-1回更新審査

【自社の取組】

安全衛生パトロール

- •ストックヤード仕切り版の破損個所修繕
- ・日々の監視項目不足
- ・緊急対応備品ボックスの管理不足など

内部監査・パトロール

- •アルコールチェックの指示事項の記録不足
- ・是正効果とリスクアセスメント一覧表が不整合
- ・埃っぽいコンセントからの自然発火対策など

PRTR届出量

単位:kg

	第一種指定化学物質の名称	取扱量	大気への排出	移動量
号番号	名 称	令和4年度	令和4年度	令和4年度
53	エチルベンゼン	1,251	31.01	183.67
80	キシレン	29,447	241.52	390.88
86	クレゾール	303	0.7	0.00
125	クロロベンゼン	1,208	34.84	0.00
186	塩化メチレン	1,208	377.44	0.00
258	ヘキサメチレンテトラミン	1,836	0.21	6.00
296	1,2,4ートリメチルヘ・ンセ・ン	2,580	10.44	37.71
300	トルエン	55,910	1,089	3,312
349	フェノール	2,049	4.24	17.50
392	ノルマルーヘキサン	774	69.27	6.84
400	ベンゼン	120	7.2	1.2

ばい煙測定

	令和4年9月	基準値	令和5年3月	基準値
ばいじん g/㎡	0.076	0.3	0.12	0.3
硫黄酸化物(SOx) m³/h	0.16	1.1	0.15	1.1
窒素酸化物(NOx) vo1ppm	100	180	35	180

資格取得者

2023年9月1日現在

20207	F3月1日現在				
1	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	2名	19	粉じん作業特別教育	1名
2	収集運搬業の許可申請に関する講習	2名	20	はい作業主任者技能講習	3名
3	処分業の許可申請に関する講習	2名	21	防火管理者	1名
4	産業廃棄物処理検定	6名	22	フルハーネス型墜落制止特別教育	9名
5	内部環境監査員外部講習修了者	10名	23	大型免許	14名
6	特別管理産業廃棄物管理責任者	16名	24	小型移動式クレーン	10名
7	危険物甲種	1名	25	床上操作式クレーン	5名
8	危険物乙種(4類)	32名	26	クレーン5t未満	2名
9	危険物丙種	3名	27	玉掛け	13名
10	運行管理者	3名	28	フォークリフト	28名
11	安全運転管理者	3名	29	ガスクロマトグラフ ルーチンメンテナンス講習終了	1名
12	第一種衛生管理者	3名	30	ガスクロマトグラフ オペレーション基礎講習修了	1名
13	安全管理者選任時研修終了	2名	31	ボイラー取扱技能講習終了	1名
14	特別・職長教育終了	4名	32	2級ボイラー技士	3名
15	酸素欠乏 · 硫化水素危険作業主任者	9名	33	車両系建設機械(整地運搬積込及び掘削)	2名
16	有機溶剤作業主任者	6名	34	車両系建設機械(整地等)	4名
17	特定化学物質等作業主任者	3名	35	eco検定(環境社会検定試験)	5名
18	毒物劇物取扱者	1名	36	救命技能	22名

工場見学者様からのご意見

弊社では、お越し頂きました工場見学者様からご意見を頂いております。お客様から頂戴した有り難い御意見を「お褒め・アドバイス・要望・指摘」に分類し、関係する部署が対応する仕組みとなっており、管理業務の向上に結びついております。令和4年度の見学者は77社163名の方にお越し頂きました。



ピ・ジ・ネスパ・ートナー とのコミュニケーション



外部コミュニケーション

- -情報公開として、環境方針77部、環境報告書159部の配布。
- ・利害関係者様からは、安全、環境などに対する問い合わせが54件ほどありました。 その中でも環境保全活動・構内安全作業教育における協力依頼・災害情報は全体の65%を占めており 弊社の災害防止活動に役立てられております。

地域社会との関わり

『新型コロナウイルス拡大防止への取組』

- ◎次亜塩素酸水生成器を設置し、超音波式噴霧器 11台設置しすべての室内で次亜塩素酸水の空間 噴霧を実施し、浮遊菌と床面付着菌の除菌。
- ◎頻繁に行う手指消毒でも手荒れ知らず。





次亜塩素酸水生成器

超音波式噴霧器

『令和4年度宮城県ストップ温暖化賞』



バイオディーゼル燃料の製造、普及、利用活動を18年間にわたり継続してきた事で、CO2削減とバイオマスエネルギーの地域循環を推進してきた事で受賞しました。

『雑誌スポンサー制度で寄贈』



新名取市図書館の雑誌コーナー

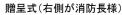
『障がい者による園芸活動への支援』



玄関へお花の飾り付け

《名取市消防本部様へ車両の寄贈》







贈呈車両

『行政・団体・協会への積極的な関わり』

- ◎名取市防災安全協会 監事
- ◎(一社)宮城県産業資源循環協会 副会長 同協会県南支部 支部長と事務局
- ◎名取ロータリークラブ 2021~2022年度会長
- ◎岩沼地区安全運転管理者会 会長
- ◎全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会
- ◎みやぎグリーン購入ネットワーク

- ◎名取市環境審議会委員
- ◎名取市商工会
- ◎仙台市商工会議所
- ◎(社)みやぎ工業会
- ◎東北ニュービジネス協議会
- ◎名取市消防団

会社周辺の清掃活動

19年続けている清掃活動は、五月晴れのなか行われました。新型コロナウイルス感染症も5類に緩和されましたが、まだまだマスク着用者が多い時期のなか総勢27名が参加しました。今年度は通常捨てられているゴミ(ビール・ジュースの空缶・吸い殻・菓子袋などのビニール類など)の他、レジャーで使用する椅子なども有り驚かされました。



不法投棄のパトロールと撤去作業

行政及び宮城県産業資源循環協会県南支部による不法投棄パトロール及び撤去作業は、3年連続して 新型コロナウイルスの影響で中止となっています。

名取市消防団への参加

消防団員とは、火災時には各地区に備えてあるポンプで消火活動、残火処理、再燃防止などを実施。水害時には土嚢積み等で、河川の逸水、堤防の決壊防止などを行います。その他災害の状況に応じて人命、財産を守るために活動します。



消防学校

新人への基礎講習



安全祈願



川の水利用



操法訓練

自動販売機でみどりの募金



自動販売機で飲料水を買うことにより森林活動を支援しています。誰でも出来る簡単な支援システムだからこそ、全国に広がってほしいものです。

緑の募金は(社)宮城県緑化推進委員会へ寄付され みどりの少年団等の緑化活動へ役立てられます。

SDGsの取組



SDGs宣言書

株式会社オイルプラントナトリ 2022年10月11日



当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

当社	はSDGsの内容を埋解し、	SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。			
取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強い SDGsゴール		
人材・労働	人材育成	①労働者に能力開発の機会提供 ②男女共に活躍できる職場環境の構築	4 history 5 history 8 history 1 miles		
環境	自社工場の脱炭素推進	①バイオ燃料の自家発電設備の導入 ②高効率設備への更新促進 ③低炭素排出車両の導入 ④太陽光発電設備の設置	13 ATTOCK		
公正な事業慣行 組織体制	安全と法令順守を優先 した職場環境づくり	①怪我・災害・交通事故リスクの 低減活動②法令順守の教育を強化	3 decided 4 and 16 feeded 16 feeded 15 feeded		
製品 サービス	サーキュラエコノミー (循環型経済)を実感しよう	①リサイクル原料の入荷量アップ ②リサイクル燃料の販売先拡大	12 HER		
社会貢献 地域貢献	地域に必要な会社に なるために	①地域活動への協力・支援 ②地域資源の積極的利用 ③災害時における市町村との協力 ④森林活動への支援	11 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15 15 5-15-15		
コミュニ ケーション	パートナーとの関係強化	①安定した処理先パートナーの確保 ②同業者同士のネットワーク強化に よる、協力体制の構築	17 Generalis		
And the second second					

※出典:七十七銀行様HPより

協定書関連

地域町内会との協定

弊社は、平成14年1月30日に会社周辺の飯塚町内会様と環境保全に努める事を目的とした「環境保全のための協定書」を締結しております。

全国組織の災害時協定

エコスタッフ・ジャパン(株)様は、全国から認定50社を超え、教育研修と情報公開が徹底された廃棄物処理・リサイクル企業の全国ネットワーク体となっています。平成25年6月27日「自然災害や不可抗力」により事業活動が困難な状況に至った場合に、認定企業が相互に支援し合う協定を締結。

MRGの災害時協定

近県の同業者が集まり、自然災害や不可抗力により事業活動が困難な状況に至った場合、相互に支援 し合う「お互い様共助」に関する協定を締結。(25年1月25日)

同事業内容企業との災害時協定

関東の同業者と、相互に支援し合う「おたがい様共助」に関する協定を締結。(24年10月1日) 販売している製品を生産出来ない場合にも支援し合う協定を締結。(25年6月1日)

SUSTAINABLE GALS



持続可能な社会の実現に向けて、弊社はSDGsに取り組んでいきます。



次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主の認定(くるみん認定)を受けています。

株式会社オイルプラントナトリ

₹981-1201

宫城県名取市下増田字広浦52番3号
TEL 022-382-2713 FAX 022-384-0946
E-mail: opn-amenity@msf, biglobe, ne, jp
---発行 2023年10月 ISO事務局---